

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：機械、土木、建築、その他工学】

大 学 名	早稲田大学	整理番号	H - 1
拠点のプログラム名称	超高齢社会における人とロボット技術の共生		
中核となる専攻等名	理工学研究科機械工学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 藤江 正克 外23名		
(拠点形成の概要) 少子高齢化が進む21世紀においては、あらゆる地域・世代の人々がその持続と繁栄に主体的に参加できる社会の実現が課題である。そのための新しい社会基盤技術の1つとして、ロボットテクノロジー (RT) が期待されている。本拠点では、RTの各分野において世界をリードしてきたヒューマノイド研究所、モビリティ研究所などの学内5組織を総合し、「超高齢社会における人とロボット技術の共生」の研究教育を展開する。特に、機械・情報・制御等のRTコア技術はもとより、医療・福祉・農業・文化芸術・環境に関わる次世代ロボット技術の確立を図る。同時に、若手博士研究者および博士課程学生への支援を強化し、学内5組織と企業を含む国内外組織を双方向的に連携させた世界最高水準の“On Research Training”を行うことにより、多くの「進取の気象に富む創造的研究者および実践的な高度技術者」を世に送り出し、新たな文化・産業の創出に寄与する。			
(採択理由) 早稲田大学は日本のロボット研究を創始した数少ない研究機関の一つであり、長年にわたり日本の研究開発を先導してきている。研究実績も豊富で世界的な水準にある。ロボット技術は高齢社会を迎える日本で求められる重要技術の一つで、急速に社会生活に溶け込んでいくことが予想される。このような状況の中で、人とロボット技術の共生を課題として研究と教育に成果を上げ、社会に還元されることが期待される。			